

## ヤマツツジ再生の丘（長瀬宝登山）作業報告

日時：2022(R4)年 9 月 11 日（日） 09:30~12:00

参加者：池田、田崎、藤井、横山、芳野、河野 計 6 名

（報告：河野、作業風景等写真提供：池田）



ミツバアケビ

新型コロナ第7波が収束しているとは言えない状況だが、殆どの方が4回のワクチン接種を終え、重症者の割合が減ってきたようなので久しぶりに活動に参加する。まだまだ暑さの残る9月の晴天の中、車に分乗してヤマツツジ再生の丘に到着。日差しは強いが標高のせいかわる暑さは少しはましに感じられる。さらに日陰に入るとホッと涼しさ、見晴らしは良いし風が抜けるので気持ち良く作業できそうだ。

日本の平均降水量は世界と比較すると約2倍弱。放って置いても植物が成長する恵まれた環境である。そしてご存じのように、ツル植物は自重の支えを他の樹木等に依存しているので特に成長が早い。前回6月に下草刈りとツル類の除去作業が行われているが、ヤマツツジが何処に有るか分からない程ツル類に覆われていた。

ツル類の成長の早さに感心している場合ではない、ススキや笹類も旺盛にその範囲を拡げている。早束手分けしてツル切りと下刈りに取り掛かる事となった。

私はツル切りに取り掛かるが、伸びたススキでヤマツツジに絡むツルが見にくいので、まずは大鎌で周囲の下草刈りをおこなう。一部下草の勢いが無い場所があるが、6月の作業時に除草剤を散布してみたところだそう。比べるとかなり効果があるので、今後の使用を検討する価値があると思う。

ある程度下草を刈ったところでツツジの根元から立ち上がるツルを切り、枝に絡みついたツルを取り除いていく。疲れないが思ったより時間がかかる作業だ。最初の休憩までに、たった3株のツルしか除去できなかった。

休憩後は刈り払い機で下草刈りを行った。看板の東側に背丈を超える笹がびっしりと生えている。斜面の下側から刈って行くが、刈った笹が倒れないのでなかなか前に進めない。刈った笹の根元をつかんで引っ張るが、上部にツルが絡みついて引き倒せない。ある程度刈ったが進まないで上部に転戦する。上部へ移動すると笹全面をクズとヤブカラシが覆いわたるソデ群落となっている。笹の根元を刈っても倒れないわけだ、ツル類のなんと厄介な事よ！

お昼まで汗だくになりながらも、心地よい疲労を感じて怪我なく作業は終了。

自身も久々の参加だが、多くの方の参加が必要です。皆さんに参加をお願いしたい。

